

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月31日

事業所名 Wa

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		活動内容に合わせてスペースの設定をしている。	小人数で落ち着いて活動に参加できるよう、環境の整備を行っている。
	2	職員の配置数は適切である	5		送迎時にも、所内を把握できる人員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		スロープや手すりをつけている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		会議等で、反省点や改善点について話し合い意見交換している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	保護者の方に協力していただき実施している。	保護者の方に協力頂いた評価表を元に、業務内容の改善方法や意見交換を行う会議を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		毎年ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		毎月、他事業所と合同で研修会をおこなっている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		コロナ禍ではあったができる限り研修には積極的に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		毎年、アセスメントとり、状況を把握している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		事業所独自のものを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		会議を行い、その月の反省点と課題を見つけ翌月の内容を決めていく。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		月末に翌月の活動予定表を配布している。職員全員で話し合い計画をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		平日、休日、長期休暇に合わせて活動内容や時間設定を変えている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		子どもの得意な事や興味のあることを計画に盛り込んでいる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼、昼礼で申し送りを行っているが、急な変更等で周知不足の時がある。	事前の打合せを行っているが、職員間での周知不足があることもあるため、申し送りノートや伝達事項用にホワイトボードを活用していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		送迎や支援で反省点や変更したほうが良い点があれば、話し合い解決策を出し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		独自の記録様式にて記録をおこなっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		計画に沿った期間のモニタリングを実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5		ガイドラインと事業所の特色を生かした活動内容と支援を行っている。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		子どもの状況に精通している職員が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5		日頃より、こどもの様子や下校時間、送迎等について密に連携をとっている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5		該当児を受け入れる際は行ってきたい。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		情報共有と引き継ぎを必ず行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		情報共有と引き継ぎを必ず行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		地域の児童クラブを併用して利用している子どももいる。地域の公園や公共の施設などを利用しながら交流を図っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		すべて参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時や連絡帳、電話等で子どもの様子について情報交換を行い共通理解をおこなっている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	相談時に助言等おこなっている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		利用者負担等は事前に文書にてお知らせをし協力をお願いをおこなっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		事業所内相談や必要に応じて助言、相談を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	親子で参加できるみかん狩りや参観日を実施している。	保護者会はないが、今年度も保護者懇親会や参観日、保護者の参加できる行事を計画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情等あった場合は苦情解決マニュアルに沿って対応し丁寧に説明を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月のおたより、行事予定の配布、ホームページの更新をおこなっている。	
	35	個人情報に十分注意している	5		鍵付きキャビネットで保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		文書と合わせてできる限り口頭での説明も行って一緒に確認している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		区長さんとの連携をとりながら、災害時に備えて地区の避難訓練等の行事に参加していく。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		防災計画を作成し、緊急時の避難場所等については文書にて保護者に配布している。
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎月(地震、津波、火災、洪水、不審者)訓練を順番におこなっている。	
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		他事業所と合同で虐待防止研修をおこなっている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		契約時の説明と同意書の同意をもらっている。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		検査結果の内容についてお知らせいただき医師からの指示に従っている。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		小さなことでも記入し全職員で周知を行い再発防止策の徹底をする。	